デジタルビデオレコーダ

取扱説明書

※ このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

※ 取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

※ ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

※ 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

Ver.1.0

警告

火災や感電の危険性がありますので
湿気やほこりの多い場所に製品を置かないでください。

本製品を設置するには専門家が
行う必要があり、全ての規範を遵守する必要があります。

●本製品は記録媒体としてハードディスクを使用しています。衝撃や振動を与えないでください。故障の原因となります。

●ハードディスクは消耗品です。お買い上げの販売店に相談し、定期的な交換をお願いします。また、定期点検の実施をお勧めします。

●録画データ、バックアップデータについてはどのような場合でも保証いたしません。

●本製品は横置き（ボタンの文字が読める方向）専用です。通風孔を塞がない設置条件であっても縦置きは出来ません。

注意

システムを動作する前に必ず読んでください。

物的損失や人命損害を防ぐため、下記の項目を必ず読んでください。

危険及び警告表示

⚠ **警告: 死亡や重症を負う恐れがある内容です。**

⚠ **注意: 軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容です。**

警告及び注意

⚠ **警告**

1. メーカーが提供、推薦する電源コードを使用してください。火災の原因となります。

2. 製品を分解や修理、改造等をしないでください。製品の故障や火災の原因となります。

3. 修理については販売店にお問い合わせください。修理が適切に実行されない場合、感電の原因となります。

4. 手が濡れたまま製品に触れないでください。製品の故障や感電の原因となります。

5. 製品の設置は必ず専門家に依頼してください。製品の故障や感電、火災の原因となります。

6. アースは3Pアースプラグが装備されているビデオ製品に適用します。※モデルにより異なる
   このプラグはアース型の電源コンセントにのみ有効です。アースが設定されていない場合、製品が故障する原因となります。

7. アース接続はガス管や水道管、または電話回線と合わせないでください。アースが正しく設置されなかった場合、製品の故障や感電の原因となります。

8. 製品内部に金属異物を混入させないでください。製品故障や感電の原因となります。

9. システム動作中に殺虫剤や可燃性のスプレーをかけないでください。火災の原因となります。

10. 通風孔をふさがないでください。また、空気循環が良い場所に置いてください。火災が発生する過熱また致命的なシステムの損傷の原因となります。

11. 機器内部に水が入り込まないように注意してください。清掃の際は、乾いたタオルで行ってください。
製品故障や感電する可能性があります。

⚠ **注意**

1. メーカーが提供、推薦する電源コードを使用してください。
メーカーが提供、推薦する製品外、規格外の製品を使用すると火災、製品の損傷の原因となります。

2. 落下や、強く振るパーティションの衝撃を製品に与えないでください。製品故障の原因となります。

3. 通風孔を塞がないでください。
製品の内部温度が許容温度に比べて高くなり、製品故障や火災の原因となります。

4. 落雷時に電源コードを触らないでください。感電の原因となります。

5. 機器の上や周辺に湿度の高い物を置かないでください。製品の内部温度が高くなり、製品故障や火災の原因となります。

6. 傾斜や不安定な場所に製品を設置しないでください。落下や転倒による事故の原因となります。

7. 内部ファンに指や物を入れないでください。事故の原因となります。

⚠ **備考**

※ 本説明書内の画像、イメージ、操作は製品のモデル、仕様によって異なる場合がございます。
※ 製品の機能や構成は製品の改良のため、予告なしに変更する場合がございます。

目次

1. 初めに 7

1.1 製品の構成 7

1.2 システム開始 8

1.3 名称 8

1.4 システム終了 10

2. 運用 11

2.1 ユーザーログイン 11

2.2 ライブ画面 11

2.3 再生 14

2.4 検索 16

2.5 バックアップ 21

2.6 バックアップ再生 22

3. メニュー設定 24

3.1 システム 25

3.2 デバイス 30

3.3 アラーム 33

3.4 録画 36

3.5 ネットワーク 39

1. 初めに

1.1 製品の構成

システムに同梱される付属品を確認してください。不足がある場合、販売店にお問い合わせください。

梱包箱は保守対応時に使用する場合があります。

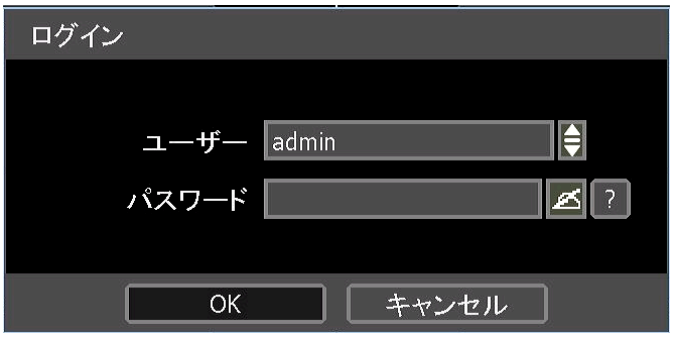
品名	イメージ	数量
12V D/Cアダプター & 電源ケーブル		1セット
マウス		1個
ネジ		1セット

※ 上記の付属品は製品の改良のため、予告なしに変更する場合がございます。

※ 上記の付属品はモデルによって構成品が異なる場合がございます。

1.2　システム開始

システム動作前に、周辺装置を接続後、電源コードをデバイスに接続してください。
ログインするには、画面の任意の場所を右クリックし、ポップアップ画面にユーザ名とパスワードを入力します。
DVRで設定できる管理者アカウントは 1つだけです。'admin'とマークされた変更不可能なユーザ ID が割り当てられます。 デフォルトのパスワードは 'qawsed2007@' です。管理者アカウントは、DVRとその設定可能なパラメータにフルアクセスでき、新しいユーザを作成したり、新しいユーザアカウントに権限を割り当てることもできます。



1.3　名称

1.3.1.　　フロントパネル



1　　USBポート：USB装置接続(バックアップ、アップグレード、インポート/エクスポート等)

2　　LED状態表示灯

PWR(電源)：正常時「点灯」し、異常時「消灯」します。
REC(録画)：正常時「点灯」し、異常時「消灯」します。
NET(ネットワーク)：ネットワークに接続時「点灯」し、未接続時「消灯」します。

1.3.2. ライブ画面のメニューバー

ライブ画面上でマウスカーソルを画面の下部に移動すると下図のようにメニューバーが表示されます。



メニュー設定

メニュー設定画面に入る事が出来ます。システムの全ての設定を行えます。

画面モード

分割画面を切り替えられます。(1, 4, 6, 9, 10, 13, 16分割モード選択可能)

※チャンネル数によって分割画面は異なります。

自動切換

画面を自動に順次切り換えします。

チャンネル

当該のチャンネル番号をクリックすると、単画面に切り換わります。

緊急録画

緊急録画を開始します。

※緊急録画を中断したい場合、もう一度アイコンをクリックしてください。

バックアップ

バックアップ画面に移動します。

再生

直近で録画されたデータ(10秒前)から再生されます。

検索

検索メニュー画面が表示されます。用途に合わせた検索モードを選択出来ます。

終了

ログオフ、再起動、システム終了が出来ます。

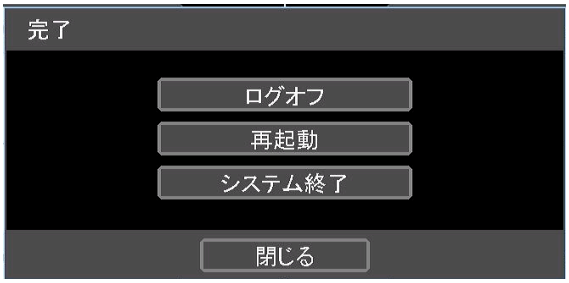
メニューバー固定トグル

- メニューバーを固定出来ます。
- 固定時、メニューバーが常に表示されます。
- メニューバーの固定を解除したい時はもう一度アイコンをクリックしてください。
- メニューバーを固定しない場合は、マウスカーソルを画面下に持っていった時のみメニューバーが表示されます。

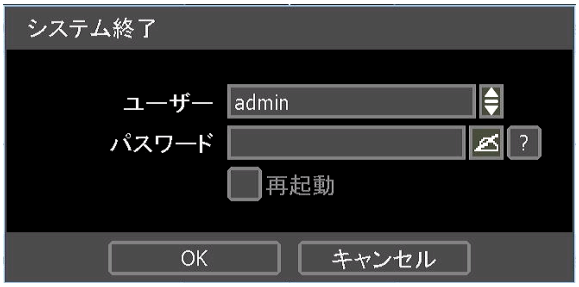
1.4　システム終了

メニューバーの終了のアイコンをクリックすると、システムの終了画面が表示されます。

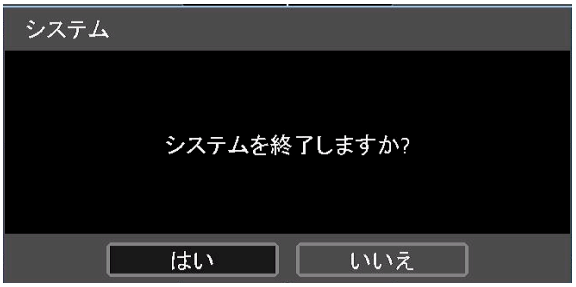
1　ログオフ/再起動/システム終了を選択出来ます。



2　"システム終了"をクリックした後、パスワードを入力し「OK」をクリックください。



3　下の表示画面で"はい"をクリックして、システムを終了します。

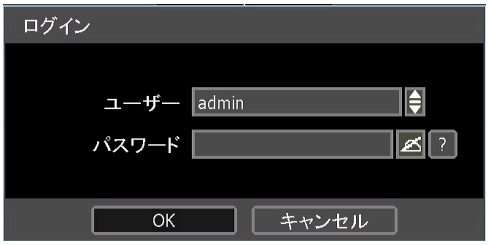


メモ　パスワードは仮想キーボードを利用し入力出来ます。
再起動時もパスワードを入力する必要があります。

2. 運用

2.1 ユーザーログイン

システム動作前に、周辺装置を接続後、電源コードをデバイスに接続してください。
起動後、初期ユーザー名「admin」、初期パスワード「qawsed2007@」、を入力し、ログインします。



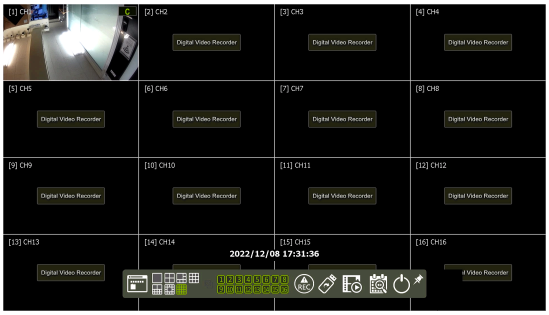
2.2 ライブ画面

システム起動後、簡単なボタン操作でライブ画面を監視出来ます。

2.2.1. チャンネル選択

ライブの分割画面で監視する事が出来ます。(1, 4, 6, 9, 10, 13, 16分割モード選択可能)

※チャンネル数によって分割画面は異なります。





分割画面上で単画面表示させたいチャンネルをクリックすると、指定したチャンネルが単画面表示されます。
単画面上でクリックすると、分割画面に戻ります。

2.2.2. 状態表示アイコン

ライブ画面でシステムの状態をアイコンで確認出来ます。

C M S C+M C+S M+S	連続録画		モーション録画
	モーション録画	E-REC	緊急録画中
	センサー録画		PTZ操作中
	連続 + モーション録画	画面フリーズ	画面フリーズ
	連続 + センサー録画	SEQ	シーケンス(順次切換)中
	モーション録画 + センサー録画	ZOOM	デジタルズームモード

2.2.3. ポップアップメニュー

マウスを右クリックすると、下図のようにポップアップメニューが表示されます。

特定のチャンネルを設定したい場合、特定のチャンネル上で右クリックすると、当該のチャンネルのポップアップメニューが表示されます。



ディスプレイモード

分割画面を切り替えられます。(1, 4, 6, 9, 10, 13, 16分割モード選択可能)

※チャンネル数によって分割画面は異なります。

次のチャンネル

表示されているチャンネル番号の次のチャンネル番号に移動します。

※16分割時は使用出来ません。

自動切換

画面が順次切り換わります。(1, 4, 6, 9, 10, 13画面モードでのみ順次切換可能)
※チャンネル数によって異なります。

デジタルズーム

- 画面の拡大/縮小が出来ます。※　　単画面時のみ使用出来ます。
  (PTZ機能のズームとは異なります。)
- マウスのドラッグを使用して、拡大/縮小出来ます。
  拡大された状態からマウスで位置を移動出来ます。
- 映像が拡大された状態から元の状態に戻す場合、右クリックをすると元の画面に戻ります。

PTZ

PTZ(パンチルトカメラ)カメラを制御する事が出来ます。

画面フリーズ

- ライブ画面を静止させる事が出来ます。
- 時間表示は静止せずにライブ時間を表示します。
- もう一度ライブ画面フリーズをクリックすると、動作が再開します。

ブックマーク追加

- データを保存したい時間帯でブックマーク追加をクリックします。
- ブックマーク追加した日付/時間が反映されて、説明を入れて保存するとクリック時の時間をお気に入りに登録が出来ます。

  ※ブックマークした録画データはブックマーク検索から再生出来ます。

再生

直近で録画された画面が自動で再生されます。(10秒前～5分前まで選択可能)

検索

検索のサブメニューが表示されます。用途に合わせた検索モードを選択出来ます。

(カレンダー、日付/時間、最初のデータ、最後のデータ、システムログ、イベントログ、POS、ブックマーク)

サムネイル検索

時間、分単位で静止画面が表示され、より細かく検索出来ます。

映像情報保存

内蔵しているハードディスクの録画期間、1日当たりのデータ量(平均)、現在の録画日数、残りの録画可能日数を確認出来ます。

システム状態

ネットワークの接続状態、接続されたクライアント数、カメラの接続状態を確認する事が出来ます。

※緑色が正常状態を意味します。

分析

- システム性能モニター:CPU/メモリ/録画(ビットレート)の使用容量を確認出来ます。
- ネットワーク性能モニター:各カメラのネットワークデータ量をグラフで表示します。

自己診断

システム及びカメラの基本情報(システム、ネットワーク、保存装置、カメラ)を確認する事が出来ます。自己診断情報をメールで送信する事が出来ます。

メニュー

メニュー設定に入る事が出来ます。システム全ての設定を行えます。

メモ 自己診断メール送信する場合、メニュー設定の中にある通知設定を行ってください。

2.3 再生

2.3.1. 再生画面

メニューバーの再生のアイコンをクリックすると、約10秒前のデータが再生されます。

ポップアップメニューの再生は10秒前、15秒前、30秒前、60秒前、2分前、3分前、5分前から選択して再生出来ます。

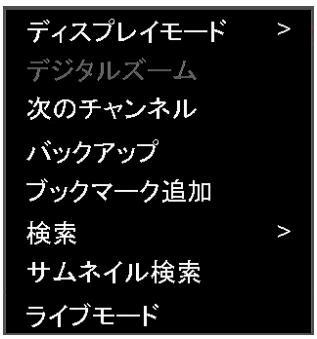


操作メニュー

- **前日**:再生時間帯の前日データに移動します。
- **翌日**:再生時間帯の翌日データに移動します。
- **早戻し**:最大32倍速で映像を巻き戻せます。
- **コマ戻し**:コマ戻しが出来ます。
- **停止**:映像を停止させます。
- **再生**:映像を再生します。
- **コマ送り**:コマ送りが出来ます。
- **早送り**:最大32倍速で映像を早送り出来ます。
- **倍速表示**:×1、×2、×4、×8、×16、×32倍速まで表示されます。
- **画面分割モード**:分割画面を切換えることが出来ます。1, 4, 6, 9, 10, 13, 16分割モード選択可能
- **バックアップ**:バックアップ画面に移動します。
- **検索**:検索メニュー画面が表示されます。用途に合わせた検索モードを選択出来ます。
- **再生モード終了**:ライブ画面に戻ります。
- **メニューバー固定トグル**:メニューバーの表示を固定出来ます。
- **チャンネル**:現在、選択されたチャンネル番号を表示します。
- **タイムバー**:選択されたチャンネルの録画状態(24時間分)をタイムバーで確認することが出来ます。タイムバー上でマウスを動かして再生したい時間帯に移動出来ます。
- **日付/時間**:現在、再生中の日付・時間を表示します。

2.3.2. 再生画面のポップアップメニュー

再生画面上で右クリックすると、下図のようにポップアップメニューが表示されます。



- ディスプレイモード : 分割画面を切り替えられます。(1, 4, 6, 9,10, 13, 16分割モード選択可能)
  ※チャンネル数によって異なります。
- デジタルズーム : マウスのドラッグを使用して画面の拡大/縮小が出来ます。

※単画面時のみ使用出来ます。

- 次のチャンネル：表示されているチャンネル番号の次のチャンネル番号に移動します。

※16分割時は使用出来ません。

- バックアップ：バックアップが出来ます。
- ブックマーク追加　　：クリック時の時間をお気に入りに登録が出来ます。

※ブックマークした録画データはブックマーク検索から再生出来ます。

- 検索：検索メニュー画面が表示されます。用途に合わせた検索モードを選択出来ます。
- サムネイル検索：検索設定画面に移動します。
- ライブモード：ライブ画面に戻ります。

2.3.3. 再生モード終了

「再生モード終了」、ポップアップメニューの「ライブモード」をクリックする事によって、再生画面を終了し、ライブ画面に戻ります。

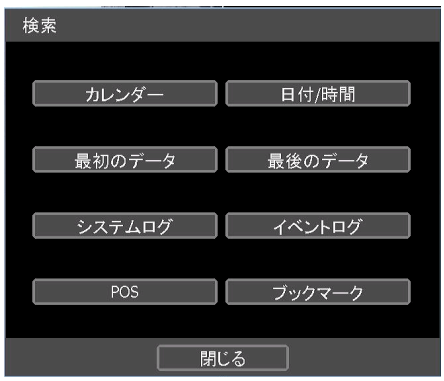
2.4 検索

メニューバーの検索のアイコン、ポップアップメニューの「検索」から用途に合わせた検索
(カレンダー、日付/時間、最初のデータ、最後のデータ、システムログ、イベントログ、POS、ブックマーク)を選択出来ます。



2.4.1. カレンダー検索

①検索する日付をカレンダーから選択します。
②検索する日付を選択後、タイムバー上で検索したい時間をクリックすると再生が開始します。





※録画データがある場合はカレンダーの日付が黄色文字に表示されます。

2.4.2. 日付/時間検索

①検索する日付と時間を直接指定して再生します。

②年/月/日と時間を選択して、「再生」をクリックすると再生が開始します。



※録画データがある場合はカレンダーの日付が黄色文字に表示されます。

2.4.3. 最初のデータ

保存された録画データの最初へ移動し、そこから再生します。

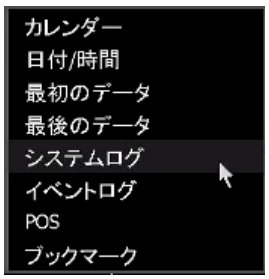
2.4.4. 最後のデータ

保存された録画データの最後へ移動し、そこから再生します。

2.4.5. システムログ

特定のシステムログ(全て、システム、設定、ネットワーク)の記録を検索出来ます。







①検索する日付を設定します。

②検索するログの種類を選択します。(全て、システム、設定、ネットワーク)

③「検索」をクリックすると、ログの内容及び発生時間等を確認出来ます。

④USBメモリをデバイスに接続して、スキャンをクリックした後、「保存」をクリックすると、USBに保存出来ます。

保存したログデータを見る方法

USBメモリをPCに接続し、新しく作られたフォルダーの中に“system_[ログを検索した日付].log”ファイルをマウスでクリックします。

※フォルダー名の初期値はDVR1です。メニュー設定>システム>設定>サイト名で変更出来ます。

2.4.6. イベントログ

特定のイベントログ(全て、センサー、モーション、ビデオロス、HDDフル)の記録を検索出来ます。



①検索する日付を設定します。

②検索するログの種類を選択します。(全て、センサー、モーション、ビデオロス、HDDフル)

③「検索」をクリックすると、ログの内容及び発生時間等を確認出来ます。

④USBメモリをシステムに接続し“スキャン”をクリックした後、「保存」をクリックすると、USBに保存出来ます。

保存したログデータを見る方法

USBメモリをPCに接続し、新しく作られたフォルダーの中に“event_[ログを検索した日付].log”ファイルをマウスでクリックします。

※フォルダー名の初期値はDVR1です。メニュー設定>システム>設定>サイト名で変更出来ます。

2.4.7. サムネイル検索

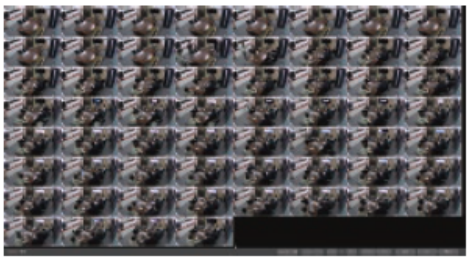


検索したいチャンネルと日付を選択して「検索」をクリックすると、その日の24時間のデータが1時間間隔で24分割(静止画)で表示されます。

24時間のデータ中から静止画をクリックする事によって、1分単位の静止画(最大60分割)が表示され、さらに細かく確認する事が出来ます。分単位で表示された静止画をさらにクリックすると、その時間帯に録画されたデータが全て再生されます。



1日データ（24分割表示）



1時間データ（60分割表示）







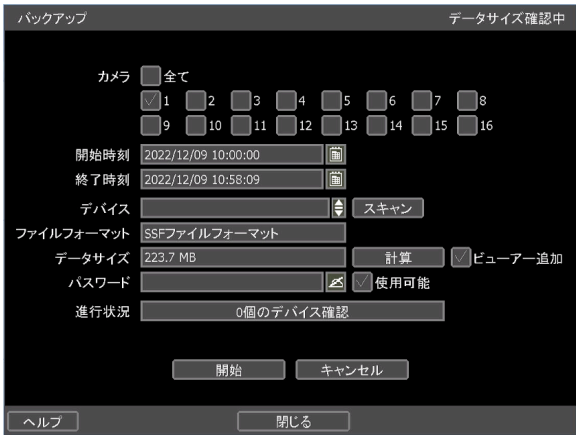
2.4.8. ブックマーク

ポップアップメニューのブックマーク追加メニューで追加されたブックマークデータを編集、削除出来ます。また再生したいデータを選択後、「再生」をクリックして、当該のデータを監視出来ます。



2.5　バックアップ

録画された映像をUSBメモリ等の外部媒体にバックアップ出来ます。



①レコーダの前面または後面のUSBポートに外部媒体を挿入します。

②メニューバーでバックアップアイコンをクリック、もしくはポップアップメニューで「バックアップ」をクリックしてバックアップ画面に移動します。

4　バックアップするカメラチャンネルを選択して開始時刻、終了時刻を指定します。

5　デバイスの「スキャン」をクリックして外部媒体を認識させます。

⑤「計算」をクリックすると、バックアップするデータの容量が表示されます。

※「ビューアー追加」にチェックをすると再生ソフトも一緒に保存されます。

⑥パスワードを入力すると、バックアップデータを再生する際にパスワードロックを掛ける事が出来ます。

⑦最後に「開始」をクリックするとバックアップが開始され、「バックアップ完了」と表示されたらバックアップ完了です。

2.5.1.　再生画面からバックアップ(簡単保存開始)

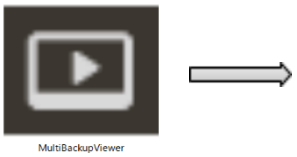
再生画面でバックアップしたい映像を確認しながらバックアップの開始時間と終了時間を選択する事が出来ます。



①バックアップしたい時間帯でタイムバー上の簡単保存開始をクリックします。
②バックアップを終了したい時間で再度タイムバー上の簡単保存開始をクリックするとバックアップ画面に時間が反映された形で移動します。
③バックアップしたいチャンネル数を選択してデバイスの「スキャン」をクリックして、挿入した外部媒体を認識させます。
④「開始」をクリックすると、バックアップ開始されます。

2.6　バックアップ再生

USB内のバックアップデータを再生ソフトウェア「BackupViewer」を使って再生出来ます。





①USBメモリをパソコンのUSBポートへ接続してUSBメモリ内の「BackupViewer」を立ち上げます。
②左のデータリストをダブルクリックするとバックアップデータが再生されます。



- 印刷：印刷画面に移行します。
- スナップショット：選択したチャンネルの静止画を保存します。
- AVI変更：AVI方式に変換して保存出来ます。
- ウォーターマーク確認：変造の有無を確認出来ます。

- ◇ 音声：音声の有無及び音量を設定します。
- ◇ 再生速度の調整：再生スピードを変更及び再生速度を表示します。
- ◇ コマ戻し：コマ戻しが出来ます。
- ◇ 逆再生：逆再生を行います。
- ◇ 一時停止：映像が一時停止します。
- ◇ 再生：通常再生を行います。
- ◇ コマ送り：コマ送りが出来ます。
- ◇ ファイル検索：バックアップデータをドライブ及びフォルダーから検索出来ます。
- ◇ リフレッシュ：データリストを再読み込みします。
- ◇ 分割切替：再生中の分割表示を切り替えます。
- ◇ 再生時間：再生時間を表示します。

メモ	カメラ映像をダブルクリックすると画面が単画面になります。 分割画面戻す際もダブルクリックをします。 デジタルズーム機能：マウスのドラック・ホイールで画面の拡大・縮小が出来ます。 デジタルズーム解除：マウスの右をクリックしてください。

3. メニュー設定

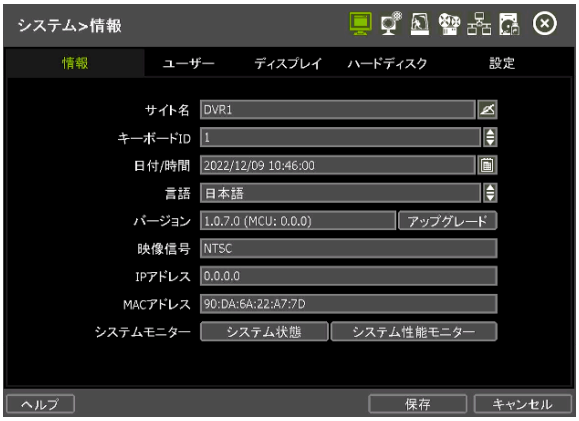
システムのすべての設定を行えます。

メニューは、ディスプレイ、録画、デバイス、ネットワーク、システムで構成されています。

主要区分	詳細区分
システム	情報
	ユーザー
	ディスプレイ
	ハードディスク
	設定
デバイス	カメラ
	オーディオ
	PTZ
	POS
	キーボード
アラーム	センサー
	モーションアラーム
	その他アラーム
録画	カメラ
	ライブストリーミング
	録画スケジュール
ネットワーク	ネットワーク
	DDNS
	通知
	モバイル通知
	P2Pクラウド
バックアップ	バックアップ

3.1 システム

3.1.1. 情報



サイト名

DVRの名称を設定出来ます。

キーボードID

本機器はキーボードが同梱されていない為、使用できない機能となります。

日時/時間

日時を設定する事が出来ます。

言語

言語を設定出来ます。

バージョン

バージョンを確認出来、アップグレードをする事が出来ます。

映像信号

映像信号が表示されます。

IPアドレス

機器に登録されたIPアドレス情報を表示します。

MACアドレス

機器のMACアドレス情報を表示します。

システムモニター

システム状態やシステム性能モニターを確認出来ます。

3.1.2. ユーザー

システムの管理者(admin/administrator)はすべての機能を使用出来る権限を持ちます。

管理者はユーザーを追加/修正/削除出来、ユーザー(user)にそれぞれ異なる権限を与える事が出来ます。例えば、特定チャンネルのライブや再生画面の監視が出来ないように設定した場合、当該のチャンネルには画面が表示されません。



ユーザー追加/変更

新しいユーザーを追加するために「追加」をクリックすると、下図の画面が表示されます。

ユーザー名、説明(任意)、パスワード確認(2回)を入力して、ユーザーに与える権限を設定する事が出来ます。

ライブ&再生でチャンネルを選択すると、監視出来るチャンネルを制限する事が出来ます。

ユーザーの権限を変更するには「変更」をクリックして、追加時と同様に設定します。



メモ パスワードヒントを入力すると、ログイン画面の右横にある”？“クリックした時、パスワードのヒントを確認出来ます。

削除

リストから削除するユーザーを選択し、「削除」をクリックすると設定したユーザー情報が削除されます。

ブートオプション



- 自動ログイン：パスワードを入れずにログイン出来ます。
- 自動ログアウト：選択した時間でレコーダの操作を行わなかった場合、自動でログアウトされます。
- ログオフ[ライブモード]：ログアウト状態でもライブ画面を表示させます。
- 最終分割モード：再起動した際に、前回ログアウトした際の分割画面の状態を維持します。

3.1.3. ディスプレイ



シーケンス切換時間

1秒から60秒の中から選択します。

ディスプレイ解像度

ディスプレイの解像度を選択します。
(1024X768、1280X1024、1920X1080、2560X1440、3840X2160)

マウスカーソルサイズ

マウスカーソルのサイズを小、中、大の中から選択します。

OSD

画面上に表示させたいOSDメニューにチェックを入れます。
(全て、日付、時間、名前、PTZ、録画、オーディオ、POS)

スクリーンセーバー

選択した時間内にレコーダの操作を行わなかった場合、画面がスリープモードに切り替わります。
※『スクリーンセーバーと同時にログアウトします』にチェックを入れると、画面がスリープモードに切り替をると同時に自動ログアウトします。

チャンネル変更

マウスドラッグ&ドロップする事によってチャンネルを移動出来ます。

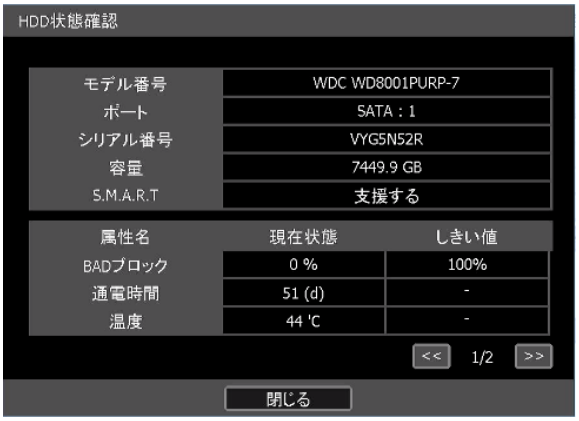
3.1.4. ハードディスク

ハードディスクの機種(モデル)、容量、空き容量などの情報を確認する事が出来ます。



ハードディスク状態チェック

チェックをクリックすると、ハードディスクのモデル名、ポート、シリアル番号、容量、S.M.A.R.T、BADブロック、通電時間、温度の情報が確認出来ます。



フォーマット

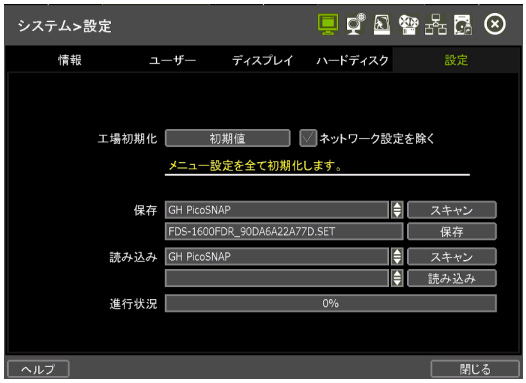
①初期化(フォーマット)したいハードディスクをチェックし「初期化」をクリックします。

②パスワードを入力すると、再起動が開始されハードディスクを初期化(フォーマット)出来ます。

DISKフル

- 上書き：HDDの空き容量が無くなると、古いデータが削除され、新しいデータが上書きされます。
- 録画停止：HDDの空き容量が無くなると、録画を停止します。

3.1.5. 設定



工場工場初期化

設定値データを全て工場初期化状態に戻します。

保存

外部媒体をスキャンして認識させて保存をクリックするとレコーダに保存された設定値データを

外部媒体に保存する事が出来ます。

読み込み

外部媒体に保存された設定値データを読み込み反映させる事が出来ます。

3.2　デバイス

3.2.1.　カメラ



名称

カメラ名称を任意で入力出来ます。

未表示

オンにすると遠隔監視する際に画面が表示されなくなります。

画質調整

明るさ、色合い、鮮明度など、カメラの画質調整が出来ます。

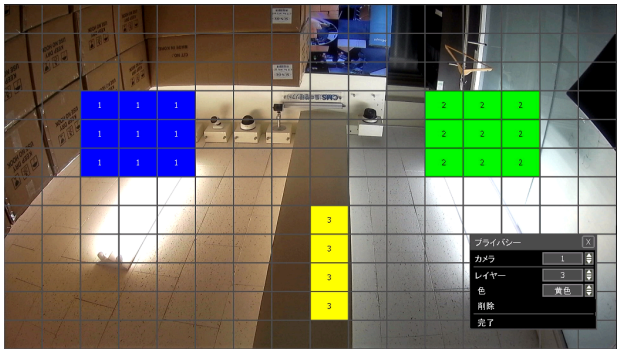


プライバシー

プライバシーマスクのエリアを設定する事が出来ます。

最大4ケ所まで映像隠しの範囲を選択出来ます。





①映像を隠したいチャンネル番号を選択します。

②「レイヤー」で番号(1~4)を選び、画面上で映像隠しする範囲をドラッグ＆ドロップして選択します。

③「色」で映像隠しする範囲の色(黒色、灰色、白色、黄色、青色、緑色、赤色)を選択出来ます。

④完了クリックしたら映像隠しされた状態でライブ画面に戻ります。

メモ プライバシーマスクを削除する時は削除するレイヤーの番号を選択して「解除」クリック後「保存」クリックすると、削除されます。

3.2.2. オーディオ

オーディオをオンにしてオーディオ設定が出来ます。



3.2.3. PTZ

PTZカメラのプロトコル、ボーレート、アドレス設定を行います。



プロトコル

システムに接続されているPTZカメラのプロトコルを選択します。

ボーレート(変調速度)

システムに接続されているPTZカメラのボーレートを選択します。2400bps～57600bpsまで選択出来ます。

アドレス

システムに接続されているPTZカメラのアドレス(ID)を選択します。

コントロール

「プログラム」をクリックすると、PTZカメラのOSDメニューが画面に表示されます。

3.2.4. POS

RS-232やLANを通してPOS装備をデバイスに接続出来ます。



メモ POS装備との連動が必要なため、販売店にお問い合わせください。

3.2.5. キーボード

使用するキーボードのモデルとボーレートを選択します。



3.3 アラーム

3.3.1. センサー





デバイスにセンサーを接続し録画するチャンネル番号、入力タイプを選択します。

オン/オフ：センサーの使用可否を選択します。

カメラ：センサー入力と連動し録画するチャンネルを選択出来ます。

リレー：設定した出力番号でアラーム出力させます。

期間：センサー終了後の録画及びアラーム出力する時間を選択出来ます。(1秒～5分)

プリアラーム：センサー発生する前の録画する時間を選択出来ます。(なし、1秒～5秒)

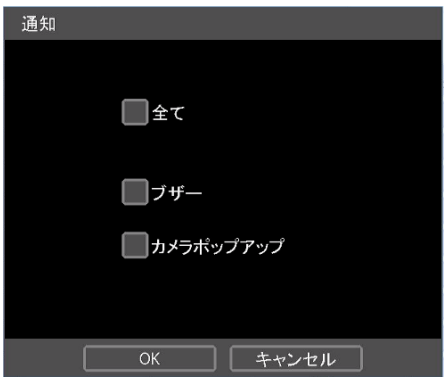
形態：入力方式をN/OかN/Cで選択します。

ブザー：通知の中にあるブザーでセンサー発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

カメラポップアップ：通知の中にあるポップアップでセンサー発生時、ポップアップのオン/オフを選択します。

3.3.2. モーションアラーム





オン/オフ：オフにすると、モーション反応しても、反映されません。

リレー：設定した出力番号でアラーム出力させます。

期間：モーション終了後の録画及びアラーム出力する時間を選択出来ます。(1秒～5分)

プリアラーム：モーション発生する前の録画する時間を選択出来ます。(なし、1秒～5秒)

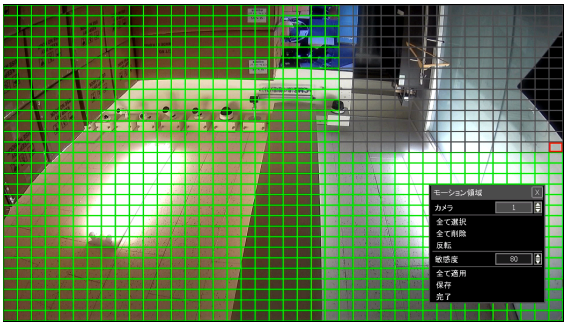
ブザー：モーション発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

カメラポップアップ：モーション発生時、ポップアップのオン/オフを選択します。

モーション領域設定

モーションがあった際の、検知する範囲と感度を設定する事が出来ます。





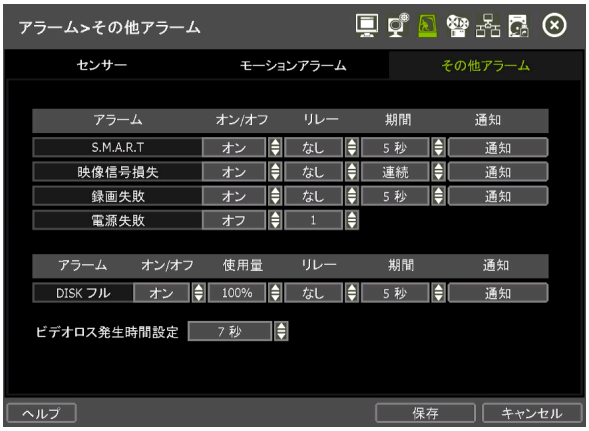
①「全て削除」クリックし、モーション検知する範囲を画面上でドラック＆ドロップして選択します。

②モーション検知する敏感度を選択し「保存」クリックします。

※感度が高く設定すると、もっと些細な動きが検知出来ます。

注意　モーション領域と感度はシステム設置現場の環境を考慮し設定してください。

3.3.3.　その他アラーム



・S.M.A.R.T：ハードディスク全体の自己診断機能を意味します。

オン/オフ：S.M.A.R.Tエラーが発生した場合にレコーダ側での通知オン/オフを選択します。

リレー：設定した出力番号でアラーム出力させます。

保持時間：S.M.A.R.Tエラー発生後のアラーム出力する時間を選択出来ます。(1秒～5秒)

ブザー：S.M.A.R.Tエラー発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

・映像信号損失：映像損失発生時の自己診断機能を意味します。

オン/オフ：映像損失が発生した場合にレコーダ側での通知オン/オフを選択します。

リレー：設定した出力番号でアラーム出力させます。

保持時間：映像損失発生後のアラーム出力する時間を選択出来ます。(連続、1秒～5秒)

ブザー：映像損失発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

・録画失敗：ハードディスク書き込みエラーを意味します。

オン/オフ：ディスクエラーが発生した場合にレコーダ側での通知オン/オフを選択します。

リレー：設定した出力番号でアラーム出力させます。

保持時間：ディスクエラー発生後のアラーム出力する時間を選択出来ます。(1秒～5秒)

ブザー：ディスクエラー発生時、ブザーのオン/オフを選択します。

・DISKフル：ハードディスクの空き容量がない状態を意味します。

オン/オフ：ディスクフルになった場合にレコーダ側での通知オン/オフを選択します。

使用量：設定した使用量になると、レコーダにディスクフルの通知がされます。

リレー：設定した出力番号でアラーム出力させます。

保持時間：ディスクフルになった際のアラーム出力時間を選択出来ます。(1秒～5秒)

ブザー：ディスクフルになった際、ブザーのオン/オフを選択します。

・ビデオロス発生時間設定

ビデオロス発生してから設定した時間でビデオロスを認識する設定です。

3.4　録画

3.4.1.　カメラ



オン/オフ

録画可否を選択します。

解像度

カメラの解像度を表示します。

フレーム(FPS)

カメラのコマ数(1～30コマ)を選択します。

画質

ビットレート(512Kbps～5Mbps)を選択します。

オーディオ

音声入力設定を行います。

3.4.2. ライブストリーミング

遠隔で監視する際の設定となります。





解像度

カメラの解像度を表示します。

フレーム(FPS)

カメラのコマ数(1～30コマ)を選択します。

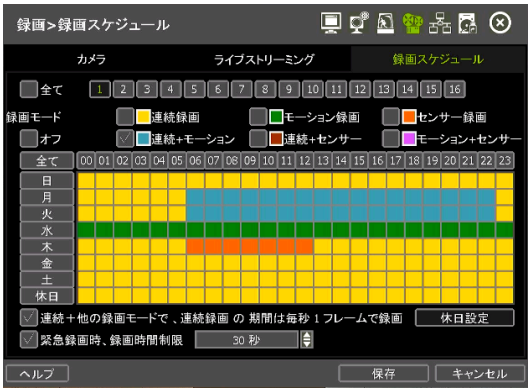
画質

ビットレート(512Kbps～5Mbps)を選択します。

オーディオ

音声入力設定を行います。

3.4.3. 録画スケジュール



チャンネル

録画スケジュールを設定するチャンネルを選択します。

録画モード

録画モード(連続録画、モーション録画、センサー録画、連続+モーション、連続+センサー、
モーション+センサー)を選択します。

オフ

録画しません。

黄色(常時(C))

常時録画します。

緑色(モーション(M))

画面上にモーション(動き)が発生すると録画します。

※システム>イベント>モーションメニューでモーション録画設定になっていないと録画しません。

オレンジ色(センサー(S))

システムにセンサー入力が発生すると録画します。

※システム>イベント>センサーメニューでセンサー録画設定になっていないと録画しません。

青色 ((C)+(M))

検索時、タイムバーに常時録画の際は黄色で表示され、モーションが発生すると緑色で表示します。
常時とモーションの区分が出来ます。

茶色((C)+(S))

検索時、タイムバーに常時録画の際は黄色で表示され、センサー入力がある際はオレンジ色で表示します。

常時とセンサーの区分が出来ます。

ピンク色((M)+(S))

検索時、タイムバーにモーション録画の際は緑色で表示され、センサー入力がある際はオレンジ色で表示します。

モーションとセンサーの区分が出来ます。

常時＋録画モードの場合、秒あたり1フレームで録画

常時＋モーション録画もしくは常時＋センサー録画の場合、常時録画中には1FPSで録画され、モーションもしくはセンサー録画中には設定したFPSで録画されます。

休日設定



休日の録画スケジュールを設定出来ます。最大32個まで休日設定が出来ます。

日付、説明を設定後、「追加」をクリックして、休日の項目に追加されます。

緊急録画

緊急録画は録画設定に関わらず常に録画している状態です。

ライブ画面でメニューバーの緊急録画のアイコンをクリックすると、緊急録画モードになり、もう一度クリックすると通常の録画モードになります。

緊急録画時間制限(30秒～10分)を選択すると、選択した時間が経過すると、自動で緊急録画モードが解除されます。

注意	緊急録画時、解像度は設定した値、フレーム(FPS)は最大値で録画されます。 ※フレーム(FPS)の最大値で録画される為、画質は落ちる恐れがあります。

3.5　ネットワーク



3.5.1.　ネットワーク

ネットワークタイプ

DHCPクライアント機能を利用するかどうかを設定します。

システムをネットワークに接続し、DHCPにします。「IP検索」をクリックして、表示されるIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSサーバー、ポート、WEBポートの情報を入力後、DHCPを“使用中止”に変更します。

※固定IP(STATIC IP)をご利用の場合は固定IPを選択します。

※DHCPのままにすると、ルーターの情報更新等によってネットワーク接続が切れますのでご注意ください。

IPアドレス

システムに割り当てられたIPアドレスを設定します。

SUBNET MASK

デバイスが参加するネットワークのサブネットマスクを設定します。

GATEWAY

デバイスが参加するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。

DNSサーバー

デバイスが参加するネットワークのDNSサーバーアドレスを設定します。ドメイン名サーバーのIPアドレスを入力します。DDNS、Eメール通知AILアラーム機能やNTPサーバーを利用するためにはDNSサーバーアドレスが必要です。

※情報が分からなかった場合、“8.8.8.8”を入力するか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

TCP/IPポート

遠隔モニタリングで使用するポート番号を設定します。

WEBポート

ウェブブラウザーで遠隔モニタリングするポート番号を設定します。

帯域制限

データの転送量を25kbps～1Gbpsまで制御出来ます。

※あくまで平均値であり、設定値を超える場合があります。

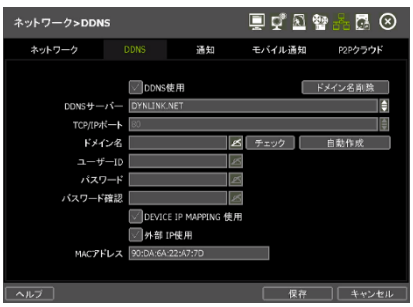
UPnPを使用

チェックを入れるとUPnP機能を対応するルーターの場合、ポートを自動に開放出来ます。

※必ずネットワーク管理者にお問い合わせの後、ご使用ください。

3.5.2. DDNS

システムがダイナミックIPに接続されている場合、公開DDNSサーバーまたはメーカーで運営するDDNSサーバー(dynlink.net)を使用するとIPアドレスが分からなくてもシステムに接続出来ます。



DDNS使用

DDNSサーバーを使用するためにはチェックを入れてください。

DDNSサーバー

- DDNS サーバー ：DYNLINK.NET自動設定
- DDNS ポート　　：80自動設定
- ドメイン名　　：遠隔モニタリングに使用するドメイン名を作成します。
「チェック」をクリックするとドメイン名の有効可否が確認出来ます。

デバイスIPマッピングの使用と外部IP使用

ルーターを利用してネットワークに接続する場合、2つ全部選択します。

※システムをネットワーク上に接続するためにはいくつかのポートが必要です。
下の表を参考にして、ファイアウォールやその他のネットワーク設定によって遮断されないようにしてください。

プロトコル	ポート	使用	備考	変更	メニュー
TCP	**9010**	**遠隔モニタリング**	**遠隔ソフト、モバイルアプリ**	**O**	**ネットワーク>ネットワーク**
TCP	8002	NTPサーバー(時間同期化)	遠隔地のPCネットワークでポート開放必要	O	システム>システム情報>日付/時間
TCP	8003	遠隔通知、Eメール通知	遠隔地のPCネットワークでポート開放必要	O	ネットワーク>通知
TCP	**80**	**ウェブモニタリング**	**ウェブブラウザー**	**O**	**ネットワーク>ネットワーク**
TCP	80	DDNSサーバー		選択	ネットワーク>DDNS
TCP	123	NTPサーバー(時間同期化)		固定	ネットワーク>ネットワーク

3.5.3. 通知

遠隔通知

イベント発生時の通知に関する各種設定を行います。



IPアドレス

通知を受ける遠隔ソフトのPCのIPアドレスを設定します。

ポート

通知を受ける遠隔ソフトのPCのポートを設定します。

イベント

通知したいイベントを選択します。

①遠隔通知にチェックを入れます。

②「追加」をクリックして、遠隔通知追加/編集画面に移動します。

③遠隔ソフト設置しているPCのIPアドレスとポートを入力して、通知したいイベント情報を選択して「OK」をクリックします。

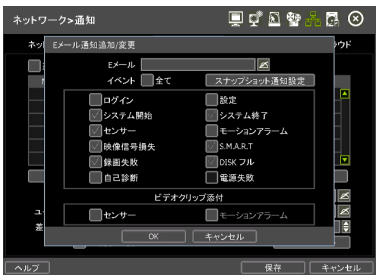
④「保存」をクリックして設定を完了します。

注意 遠隔通知はモデルと遠隔ソフトの種類によってサポートしない場合があります。

Eメール通知

Eメール設定をすると、各イベント情報がメールで通知されます。





①Eメール通知にチェックを入れます。

②SMTPサーバー、ユーザー、パスワード、開始(送信者)、ポートを入力して”Eメールテスト“をクリックします。

③ユーザーの追加でEメール、通知したいイベント情報を選択して「OK」をクリックします。

④「保存」をクリックして設定を完了します。

通知を受けるメールのSMTPサーバー設定

- SMTPサーバー　　：送信メールサーバーを設定します。
- ポート　：送信メールサーバーが使用するポートを設定します。
- ユーザー：送信メールサーバーのユーザーIDを設定します。
- パスワード　　：送信メールサーバーのユーザーIDを設定します。
- 差出人　：送信元メールアドレスを設定します。

- SSL認証使用　　：送信メールサーバーがSSL認証を必要とする場合(例、Gmail, Yahooメール等)、SSL認証でログインした後、選択してください。
- Eメールテスト　：Eメールの送信テストを行います。

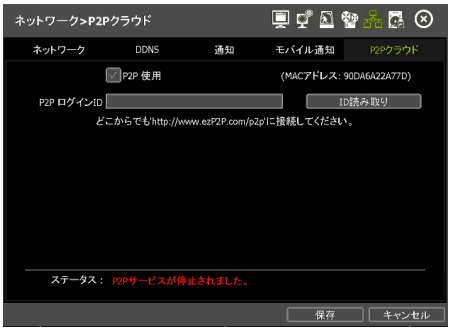
注意　センサーとモーションの通知の場合、録画設定および録画スケジュールでイベント設定をしないと通知しません。

3.5.4. モバイル通知

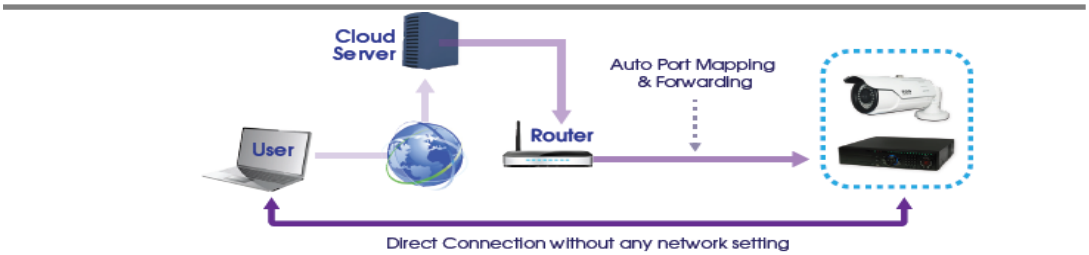
遠隔アプリでプッシュ通知する際の設定を行います。



3.5.5. P2Pクラウド



メモ　ezP2P™クラウドサーバーは複雑なネットワーク設定なしに、クラウドサーバーを利用し簡単にシステムに接続出来るシステムです。
ユーバーのEメールアドレスを利用しezP2P™クラウドサーバー(www.ezp2p.com)にログインして、システムを遠隔モニタリング出来ます。



登録(ezP2P™クラウドサーバー)

ezP2P™クラウドサーバーサイト(www.ezp2p.com)にEメールとパスワードを登録してください。





接続(ezP2P™クラウドサーバー)

ezP2P™クラウドサーバーサイト(www.ezp2p.com)にログインします。
“Preview My Device”を選択したら、同一のメールアカウントで登録したすべてのシステムリストがイメージと一緒に表示されます。

警告 P2Pクラウド機能の使用が制限される場合があります。
1) ルーターがUPnP機能をサポートしない場合、またはUPnP機能がオフになっている場合
2) ファイアウォールの設定がされている場合(ポート番号50,000~が解放されていなければなりません。)
※正しく動作しない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

仕様書			
モデル名	4CH	8CH	16CH
チャンネル	4CH	8CH	16CH
圧縮方式	H.265, H.264		
映像入力	TVI & AHD & アナログ & 自動認識		
映像出力	HDMI(1), VGA(1), CBVS(1)		
分割画面	1, 4	1, 4, 6, 9	1, 4, 6, 9, 10, 13, 16
解像度	AHD/TVI：2560 X 1944(5M), 2560 X 1440(4MP),1920X 1536(3MP), 1920 X 1080(1080P), 1280 X 720(720P), アナログ：960 X 480, 720 X 480		
録画速度	5M / 48コマ	4M / 96コマ	4M / 192コマ

録画画質		CBR:ビットレート11段階(512KBPS ～ 5MBPS)		
録画モード		常時録画, スケジュール録画, センサー録画, モーション＋センサー録画, Pre & Postアラーム録画, 緊急録画, クイックバックアップ		
検索モード		カレンダー, 日付/時間, 最初から, 最後から, システムログ, イベントログ, POS, ブックマーク		
再生モード		即時再生(10秒前～5分前)/ タイムバー / 再生, 一時停止, 逆再生, 早送り, コマ送り , 逆コマ送り / 倍速(1, 2, 4, 8, 16, 32)		
音声入力 / 出力		入力:4 / 出力:1	入力:8 / 出力:1	
アラーム入力 / 出力		入力:4 / 出力:1	入力:8 / 出力:2	入力:16 / 出力:4
内蔵HDD		最大1枚(10TB対応)	最大2枚(10TB対応)	
デジタルズーム		ライブ / 再生		
バックアップ		USB(2), ネットワーク		
システム操作		リモコン, マウス, ネットワーク		
ポート	RS-485	PTZコントロール		
	LAN	RJ45(100 / 1000 Mbps), Ethernet		
電源		DC12V 2A	DC12V 4A	
消費電力※1		10.7W(安定時)	16W(安定時)	18W(安定時)
動作温度 / 湿度		0℃ ～ 45℃ / 10%RH ～ 90%RH(結露なきこと)		
外形寸法		300(W) X 249(D) X 45(H)mm	380(W) X 268(D) X 45(H)mm	
重量		約1.2kg (HDD / ODDを除く)	約1.7kg (HDD / ODDを除く)	約1.9kg (HDD / ODDを除く)

※1:消費電力は2TB搭載を基準とし搭載容量により変動がございます。

※本仕様は予告なく変更することがあります。

MEMO

保証書

[保証案内]

- 本書は、取扱説明書などの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書内容にそって無料修理をさせていただく事をお約束するものです。
- 本書の内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

[保証内容]

■ 保証期間はお買い上げ日から1年間です。

■ 保証期間中に発生した故障に対しては保証書の内容に従って、修理または補修サービスを行います。

■ 保証期間内でも、次の場合は有料修理になります。

1. 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
2. お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
3. 火災、天災地変(地震、風水雪害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
4. 本書のご提示がない場合。
5. 消耗部品の交換。

■ 出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。

■ ハードディスクの映像データ・バックアップデータはいかなる場合も保証は致しません。

■ 本書は、日本国内においてのみ有効です。

■ 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理のご希望により有料で修理させていただきます。

製 品 保 証 書

製品及びモデル名		
シリアルナンバー(本体カバーに記載)		
販売店	店名	
	住所	
	TEL	
お買い上げ日		
保証期間		本体1年間
お客様	お名前	
	ご住所	
	TEL	

▷ 保証書は再発行しません。

▷ 製品購入時、必ず内容をご記入してください。

▷ 修理に際しましては、必ず保証書をご提示ください。